



UNION NEWS

https://jrtu.jp

東海旅客鉄道労働組合

東京本部 〒108-0075 東京都港区港南2-1-95
JR東海品川ビルB棟3F (03)6718-1251
名古屋本部 〒453-0002 名古屋市中村区名駅1-1-13 (052)586-3127

JR東海ユニオン

(1部20円)組合員の購読料に含む

発行人 鎌田 隆司 / 編集人 伊藤 大輔

「新入組合員の皆さんへ」 ようこそ！JR東海ユニオンへ！



鎌田中央執行委員長

JR東海ユニオンに今年も多くの新しい仲間が加わりました。UNION NEWS 6月号が皆さんの手元に届くころには新規組合員の皆さんは各職場で、また、専門技術を習得するための研修へと、

また1歩、新しい環境で奮闘されていることと思います。私たちJR東海ユニオンは、様々な変化を労働組合の機能強化に繋げるべく取り組みを進めています。皆さんの新たな視点や発想が大きな力になります。多様性がこれからの時代を切り切るための重要な力を握っているとも言われています。私たちは自分と同じ考えの人、同じ視点や同じ価値観を持つ人と一緒にいる

ことを無意識に好みます。他方で同じ視点の人間ばかりでは物事を新たに学ぶチャンスがなくしてしまいます。多様な意見は組織や社会を活性化する力となります。肝心なのは、集団の中で人々が自由な意見を交換できるか、互いの反論を受け入れられるか、他者から学ぶことができるか、協力し合えるか、第三者の意見を聞き入れられるか、失敗や間違いを許容しながら次に

活かすことができるか。この「多様性」の中から、労働組合の意義や価値、可能性も含め、変化を力に、違いを力に変え、皆さんと一緒に組合員の将来に責任が持てる労働運動を展開して参りたいと思います。これから続く長い会社人生はもとより、日々の生活の中においても困難に直面することもあろうかと思えます。JR東海ユニオンは、いつも皆さんのそばに存在しています。あらゆる瞬間を大切にしながら共に未来を築いていきましょう。

経営懇談会「2025年度期末決算」を開催 過去最大の運輸収入！ 過去最高の連結・単体での 経常利益・当期純利益！

4月30日、「2025年度（2026年3月期）期末決算」について経営懇談会を開催した。冒頭、会社から、この一年を振り返り、大阪・関西万博輸送をはじめ、組合員の各種取り組みにおける努力と成果に対し、感謝が示された。決算概況として2025年度の運輸収入は、大阪・関西万博の開催に伴うご利用増や訪日外国人のご利用増等により増収となり、過去最大となった。また、グループ会社

については、当社の物件費やグループ会社における売上原価の増等により増加したが、増収・増益の決算となったことを確認した。次期については、大阪・関西万博の開催に伴う増収効果がなくなることや、労務費等の上昇に伴う費用の増を織り込んで減収・減益の予想となり、厳しい経営環境が続くとの認識が示されたため、足元のビジネス輸送が回復してきている状況や、更なる需要喚起策を確認するとともに、運賃・料金制度における価格転嫁の必要性を共

有し、さらには中東情勢を踏まえた経営上のリスクへの対応について議論した。また、過去最高水準の決算を支えた組合員への適切な還元や、人財確保・定着に向けた取り組みについて強く主張し、労使で議論を展開した。さらに、中央新幹線計画については、工事着手から10年以上が経過し、品川・名古屋間の全線に工事が拡大するなかで、より効果的にプロジェクト管理を実施し計画の推進力を高めるため、定期異動に併せて中央新幹線推進本部の体制を強化する予定であることが示された。これを受けユニオンは、中央新幹線計画を着実に推進していくためには現場の最前線で働く組合員の効率的な業務執行体制の構築など、現場実態を踏まえた取組

□2025年度(2026年3月期)期末連結決算の概要

	実績	前年度との差異	前期比
営業収益	2兆 62億円	+1,743億円	109.5%
営業費	1兆1,760億円	+469億円	104.2%
営業利益	8,301億円	+1,273億円	118.1%
経常利益	7,809億円	+1,316億円	120.3%
親会社株主に帰属する当期純利益	5,528億円	+944億円	120.6%

JR東海ユニオンは、様々な課題の解決へ向けて、主体的に取り組んでいく。を進めていくべきであることを主張した。